

知らないうちにコンセントから出火!!

電気火災は、どうやって防ぐ？

実は身近に迫っている危険。
電気火災のこと、知っていますか？

年間で発生する火災のうち、電気機器などによる火災(=電気火災)が約3割を占めていることをご存じですか？しかも近年、その割合が増加傾向にあり、主な原因は機器の不適切な維持管理にあるとも言われています。



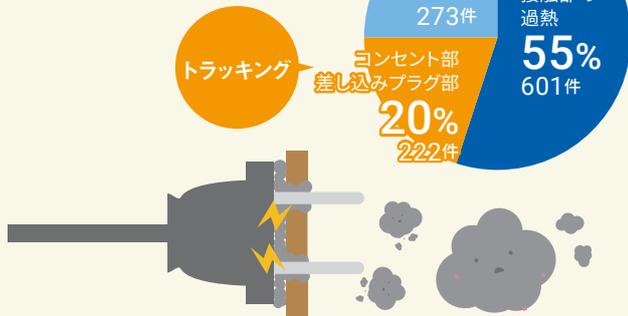
【本文参考】東京消防庁 2021年発表資料

知らないうちに火災の原因はこれだ！
コンセントとプラグの隙間に発生する〇〇現象とは？

ずっと差し込んだままのコンセントとプラグ。そのスキマにホコリが溜まり、湿気が付着。微小な放電を繰り返して発熱・発火する現象を「トラッキング現象」と言います。また、それが原因で起こる火災を、私たちは「トラッキング火災」と呼んでいます。在宅・留守・昼夜に関わらず、知らないうちに火災が起こるのです。

差し込みプラグとコンセントの出火原因

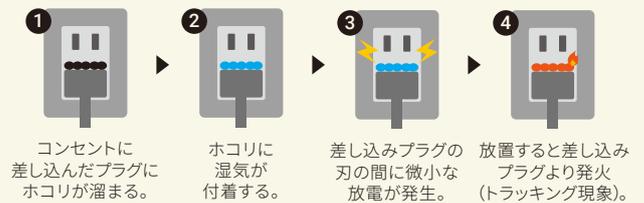
東京消防庁「火災の実態」を基に過去9年間(2012~2020年)を当社にて集計



トラッキング火災はなぜ起こる？
そのメカニズムと発生場所について

コンセントにプラグを差し込んだままにしておくことが原因で火災にまで至る「トラッキング現象」。特に大型家具・家電の裏、キッチンや洗面所といった「目の届きにくい場所」「湿気の多い場所」などで発生しやすいと言われています。

トラッキング火災のメカニズム



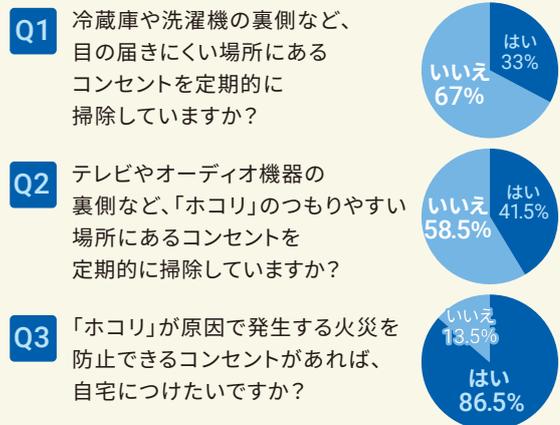
住まいのあちこちに潜む、トラッキング火災の発生リスク。

こんなところにご注意を！

- 大型家具・大型家電の後ろなど、目の届きにくい箇所
- テレビやパソコン周辺など、長時間コンセントを差したままの箇所
- キッチンや洗面所など湿気の高い箇所
- 観賞用水槽の付近や、ペットに尿をかけられる恐れのある箇所



「コンセントの掃除」本音調査



◆調査タイトル:「コンセントの掃除」に関する調査 ◆調査対象:既婚女性(30~60代、持ち家・一戸建てに居住) ◆調査時期:2015年10月 ◆調査方法:インターネット ◆調査地域:全国 ◆有効回答数:200名 ◆実施機関:株式会社マージュ

知らないうちに起こる火災を防ぐために、メンテナンスの手間を軽減しながらで安全性を上げるには？

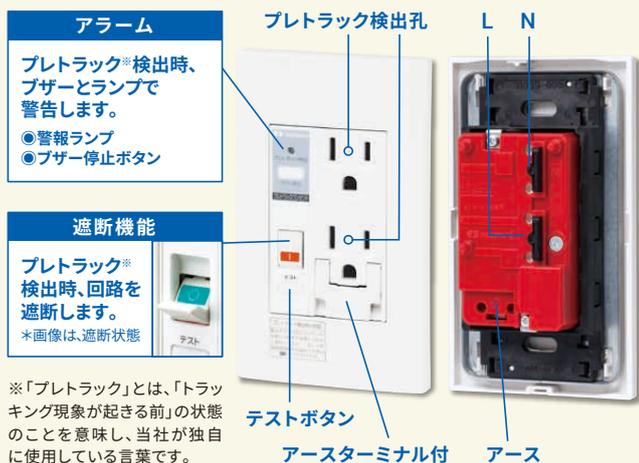
発煙・発火が“起きてから”ではなく “起きる前”に電気を 自動でシャットアウト!



トラッキング現象を確実に防止。
熱感知式よりも早く検出する。
それが、カワムラの「プレトラックコンセント」です。

カワムラのプレトラック コンセントはここがスゴイ!

① トラッキング現象を確実に防止!

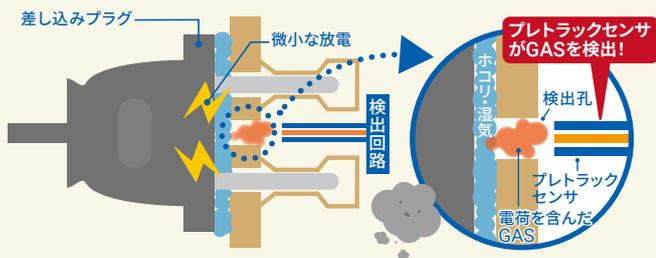


※「プレトラック」とは、「トラッキング現象が起きる前」の状態のことを意味し、当社が独自に使用している言葉です。

トラッキング現象の検出メカニズム

トラッキング現象の初期段階では、差し込みプラグ間の微小な放電により“電荷を含んだGAS”が発生します。プレトラック検出回路は、そのGASを検出孔を通じて検出。発煙や発火が起こる前に電気を自動的に遮断します。

そのため、製品が作動しても、ホコリを掃除することで何度でもお使いいただけます。



② 熱感知式よりも早く検出!

トラッキング現象が放置されて発生する「熱」ではなく、初期に発生する「物質」を検出!

だから

カワムラの「プレトラックコンセント」は、「熱感知式」に比べてより早い段階で検出!

プレトラックコンセントは、 文化財の保護にも役立っています

日本の貴重な文化財を、電気火災から守り、未来に残したい。そんな思いから、当社ではプレトラックコンセントを各地の神社仏閣、美術館、文化施設などに寄贈しています。

福岡県宗像市にある世界文化遺産である宗像大社をはじめ、「プレトラックコンセント」を寄贈いたしました。宗像大社は、日本神話に登場する日本最古の神社の一つです。本殿は1578年、拝殿は1590年に再建され、いずれも国の重要文化財となっており、本殿の東側には靖国神社から移築された儀式殿があります。



他にもこんな場所にもプレトラック!



住まいの
こだわりに応える
デザイン&カラーも
リリース

プレトラックコンセント スクエア



住宅設備の今と未来がわかる「Kawamura 住まいのあんしん」サイトはこちら
[カワムラ公式サイトからもご覧いただけます]

